

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山工業高等学校
学校番号 24

評価実施日	令和 4年 2月 18日(金)			
委員	氏名	所属等		備考
	菊池 伸英	同窓会会長		学校関係者評価委員会 書面開催
	大北 謙治	同窓会顧問		学校関係者評価委員会 書面開催
	正鋳 真一	PTA会長		学校関係者評価委員会 書面開催
	日野 繁	学校関係者評価委員 (株式会社 和泉モータース 取締役)		学校関係者評価委員会 書面開催
	清水 達郎	学校関係者評価委員 (株式会社 伊予鉄グループ 人事課長)		学校関係者評価委員会 書面開催

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 松山工業高校の生徒は、今年度の家庭学習時間は昨年度より向上している（一昨年度や昨年度より平常時は1.75倍、考查時は1.4倍以上の向上）。その理由と、今後も続けていくための対策はいかなものか。（全日制）</p> <p>(2) 生徒指導 挨拶のよくできる松山工業高校の生徒たちであるが、交通事故発生数を年間20件以上になるようです。交通ルールを守るといことは、すべての人の安全のために必ず守らなければならない社会的義務であることを、どのように教えていくのでしょうか。（全日制）</p> <p>日常生活で常に使用している携帯電話・スマホで必要な守るべきマナーについて継続的な指導の程、よろしく願います。（全日制・定時制）</p> <p>厳しい社会情勢の中、新社会人として企業に就職し、永く勤めるためには日頃から5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底が求められます。また、社員としてコミュニケーション能力が求められますので、今後も生徒指導にご尽力お願いいたします。（全日制・定時制）</p>	<p>各教科において、ICT機器を利用した教材での自宅学習のしやすい工夫がなされているからではないだろうか。今後も授業だけでなく、自宅でも反復学習のできる教材等を生徒に提供し、分かる授業を行っていききたい。</p> <p>朝の登校指導では生徒のモーニングボランティア活動や教員の挨拶指導とともに、自転車安全運転への声掛けを実施し、校外指導等も継続していく。また、校内での全体指導や生徒・保護者にClassi等で適時配信している交通安全情報では、自転車に乗るときは歩行者や車の動きに注意して、相手の立場になって思いやり、ゆずり合いの気持ちを持って、安全運転に心掛ける呼びかけを徹底していく。</p> <p>携帯電話・スマホは、自転車運転中や歩行中では絶対に使用はしないことや、公共交通機関等においてはマナーモードまたは電源オフにする等の指導を継続していく。また、授業や校内生活におけるスマホ使用の事例は年にほんの数件であり、最低限のスマホマナーは十分に守られている。今後も0件を目指していく。</p> <p>「5S」は、当たり前のことを当たり前にできる個々の人々が、基本的な考え方・行動が行える集団となり、それが組織的な強みとなって競争力の強化に結びつくものである。その「5S」を意識した教育活動を、各課・各科・各学年が連携して、学校全体で取り組んでいく。また、授業やホームルーム活動をはじめとする学校生活全体において、生徒たちの意見交換や発表の活動を大切にしていく。</p>

(3) 進路指導

松山工業高校は、就職はもちろん進学もできる学校として、今年も国立大学進学予定者が10名以上を達している。来年度以降もぜひ続けてほしい。(全日制)

なかなか収束しない新型コロナウイルス感染症の関係により、今年の求人数状況はどのような影響があるのか。そして、就職状況は実際、どのようになったのか。(全日制・定時制)

(4) 特別活動

松工数値目標にある「四国大会(ものづくり大会を含む)の出場人数150名以上」「全国大会出場人数100人以上」を達成しており、運動部・文化部ともに好成績を挙げられていて素晴らしく思います。その要因と今後の継続策はどういうものなのでしょうか。

定時制の学校行事の様子を見て、充実した活動ができていると思います。これからも引き続きよろしくお願いします。(定時制)

(5) 工業指導

各科ごとに数値目標を掲げ、目標に向かって「できたか・できていないか」を振り返ること、また進捗率が数値に表れていてとても良いと思います。(全日制)

昨年度から共通テストが開始され、ますます基礎学力定着が望まれる。工業科目の源である数学の本校での学習成果はどういう状態であるのか。(全日制)

昨年度の受験した3年生から詳細なヒヤリングを行い、その内容を本年度の「進路の手引き」作成にはもちろん、ホームルーム担任や各学年、各科にも受験対策に活かした成果が出たと思う。今後も継続して、生徒たちの進路意識を具体的に高めていきたい。

求人数は昨年度とほとんど変わりがなく、1次合格率も昨年同様93.3%であった。最終的には、学校推薦の就職率は100%である。

また、将来に離職することのないように、企業との情報交換を密にして、生徒の能力に合う進路指導を行い、生徒の希望と企業が求める人材がミスマッチを起こさないようにしている。今後も継続していく。

なお、定時制の就職試験不合格者はなしである。

昨年度と同様に、体育的な部活動では、

- ①練習環境を変える
(練習場所を学校以外の公共施設を利用する)
- ②トレーニング方法を改善する
(個人のスキルを上げる)
- ③メンタル面強化
(逆境に耐えられる、打ち破れる)

に留意した指導内容への変革に積極的に努めた成果が出ている。来年度は環境整備はもちろん、栄養管理指導研修会の機会をより多く設けるように計画している。

また、生産部については下級生を全国大会へ同行させ、大会の雰囲気、作業手順の研修、技術の習得等、学びと経験の場を多くして、次年度以降の入賞へ結びつける対策をとり、成果へつなげたい。

毎日の生徒たちの登校においては、全教職員で正面玄関にて出迎え、生徒一人一人に声掛けをすることから学校生活が始まる。そして、生徒を大切にしている学校、また、生徒にとって居心地のよい学校であることを示しながら、生徒たちが主役である学校行事に、今後も取り組んでいく。

例えば、電子機械科では二級ボイラー技士は過去2年間合格率0%から本年度は66%と成果をあげた。これは、松工数値目標一覧表で各科でそれぞれの情報を共有することで、各科がお互いに切磋琢磨していることを示している。今後も続けていきたい。

昨年度の共通テスト数学Ⅱ・Bではあるが、2年生希望者用の補習で活用してみた。生徒たちは理解する力を十分持っており、時間制限がなければ解ける基礎学力を有していることがわかった。機会をみて、今年度の全国平均の低い共通テストでも試してみたい。

<p>(6) 人権・同和教育 生徒自ら人権感覚を再確認することのできる松工人権宣言を、生徒全員に周知させておられることは素晴らしい。このコロナ禍における人権委員会フィールドワークは厳しいと思いますが、現在はどのようになっているのでしょうか。 (全日制)</p> <p>(7) 環境整備 適切である (全日制・定時制)</p> <p>2 重点目標について コロナ感染拡大防止等により、変えざる目標はあると思う。(全日制・定時制)</p> <p>3 説明・公表について 学校関係者評価委員会の資料を事前に送付できていることがよい。各課の説明も丁寧である。(全日制・定時制)</p> <p>4 学校運営への提言 コロナ禍を乗り越えるために、いろいろな場面で工夫されていて、継続的な成果をあげている様子が伺えます。Plan(計画), Do(実行), Check(評価), Action(改善)のPDCAサイクルを繰り返し行うことで、継続的な教育の改善ができると思います。(全日制・定時制)</p>	<p>人権委員会活動の基本は会合であり、話し合うことからスタートする。それゆえ、各行事・各活動は新型コロナ感染状況による中止になることが多く、厳しい活動状況である。しかし、校内では人権作文・人権標語・人権ポスター・人権絵葉書等の募集と優秀作品の選定や、「人権を考える日」・人権だよりの発行等の活動は行えている。そして、校内人権委員学習会を通して、人権委員の人権意識を高めつつ、それをホームルーム活動で発揮できるようにサポートしている。</p> <p>本年度の数値目標の達成度を確認し、来年度の目標を実質的に達成できるものに改める予定である。</p> <p>本年度も、学校評価委員の方々には、本校の具体的目標への取組を1年間通して評価していただくため、自己評価表(計画)を4月に書面で確認していただいた。体験入学、松工オープンスクール、授業参観週間等の実施が厳しい中、保護者・中学生には、松山工業高校の素晴らしさと正しい情報をお知らせするためにも、ホームページ等の充実を図る。</p> <p>本校は、卒業生や地元の企業、地域の皆様の支えの元で教育活動が充実している。その継続には、提言していただいたPDCAサイクルの繰り返しの実践を通していきたい。そして、将来、一流の仕事ができる技術者の育成サポートに尽力し続けていきたい。</p>
--	---